

社会貢献活動



当社では、コーポレート・メッセージ「投資の力で未来をはぐくむ」を掲げ、中長期にわたるお客さまの資産形成と企業の健全な成長、そしてサステナブルで豊かな社会の実現を支えていくことを目指しています。

コーポレート・メッセージの制定以来、社会貢献活動においては、当社のマテリアリティ・マップ上で重要と考える社会・環境課題の解決に取り組む団体へ寄付を行ってきましたが、今年度より当社のサステナブル投資プロダクトの残高に応じて当社が受け取る信託報酬の一部を寄付する取組み「はぐくむ投資プラス」を新たに開始しました。「はぐくむ投資プラス」の世界のサステナブルな未来に貢献するという取組み主旨に合致し、「未来を創る」世界観・活動に共感できることをテーマに選定した団体への寄付を実施しております(2025年の寄付総額700万円)。本スキームにおいて寄付先の選定は当社が行い、原則年一回実施します。

対象ファンド名	
1	みずほサステナブルファンドシリーズ- ロベコ・スマート・エネルギー
2	みずほサステナブルファンドシリーズ- LO・サーキュラー・エコノミー
3	OneグローバルESG厳選株ファンド(DC年金)
4	グローバルESG/ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)
5	One国内株式ESGフォーカスファンド(DC年金)
6	シュローダー・サステナブル・世界株ファンド(限定為替ヘッジ)
7	シュローダー・サステナブル・世界株ファンド(為替ヘッジなし)
8	One ETF ESG

団 体	活動概要	寄付金用途
(公財)世界自然保護基金 (WWF)ジャパン	人と自然が調和して生きられる未来を目指して、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止などの活動を実施	●環境保全活動費用
HRW	国内外で人々の人権を護るため、人権侵害の調査、発信、並びに法制度や仕組みを変えるためのアドボカシーを実施	●人権保護活動費用
日本赤十字社	国内外における災害救護、人道支援活動。医療事業や血液事業、緊急時の救援や復興支援、予防活動	●赤十字活動資金
(公財)日本対がん協会	「がん予防・がん検診の推進」「がん患者・家族の支援」「がんの正しい知識の普及啓発」を通じたがん征圧活動	●新薬研究やがん患者のQOL向上の助成 ●正しい知識の普及啓発 ●無料がん相談事業
脱炭素チャレンジカップ	CO ₂ 排出量の実質ゼロを目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、学校・市民団体・企業・自治体などの優れた取組みを表彰している全国大会	●脱炭素チャレンジカップの運営金 (会場費、アワードの運営費、受賞者の旅費の一部)
東京大学基金 (飯田誠先生)	「100年後の未来の糧に」という志のもとに、気候変動・被災地復興支援・地方創生・教育と複数領域での活動を実施	●地域の方との対話や子どもたちに向けた出前講義、地域イベント開催時の一部へ充当
九州大学基金 (馬奈木俊介先生)	都市工学、交通工学、環境経済学、エネルギー経済学、豊かさの計測、新技術のシステム分析を専門に、気候変動、自然資本・生物多様性分野にも注力したプロジェクトを展開	●研究活動費